

# 国民と政治参加



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

## (i) 選挙権の拡大

※有権者の人口比は、法改正直後の国政選挙での数字

法改正年			有権者の人口比※
1889	第1回選挙	直接国税15円以上を納めた25歳以上の[ ]	1.1%
1900	第7回選挙	直接国税10円以上を納めた25歳以上の男子	2.2%
1919	第14回選挙	直接国税3円以上を納めた25歳以上の男子	5.5%
1925	普通選挙法制定	満[ ]歳以上の[ ] ★男子普通選挙実現	20.0%
1945	衆院選法改正	満[ ]歳以上の[ ] ★普通選挙実現	48.7%
2015	公職選挙法改正	満[ ]歳以上の男女	83.7%

- ・大正デモクラシー期に男子普通選挙が実現し、第二次世界大戦後に男女普通選挙が実現
- ・近年は<sup>[1]</sup> [ ]投票制度や<sup>[2]</sup> [ ]投票制度が設けられ、投票機会が拡充されてきた。

## (ii) 世論とマスメディア

■<sup>[3]</sup> [ ]: 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える  
世論調査の結果や、内閣支持率などを新聞やテレビで公開している。

これを形成するにあたり、マスメディアの影響が大きく<sup>[4]</sup> [ ]とも表現  
また、近年の世論形成にはインターネットやSNSの影響が大きくなっており、情報を受け取る側も  
適切に情報を取捨選択する能力(<sup>[5]</sup> [ ])が求められる。

■ インターネットによる運動解禁: 2013年にインターネットやSNSでの選挙運動が解禁に。  
身近に政治の関心を持てるようになるが、安易な発言は注意する。  
また、満18歳未満の選挙運動は禁止されている

※ここで注意したいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

### ■ 政治的無関心の弊害

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では、  
主体性が失われつつある。特定の支持をもたない<sup>[6]</sup> [ ]が多く、若者を中心として  
<sup>[7]</sup> [ ]が多いことも今日の問題である。

## Work📌 フェイクニュースに騙されないために

総務省「ニセ・誤情報に騙されないために」参照

情報が溢れる現代社会。当然すべてが正しいわけではなく、嘘やデマ、誤情報、悪意のある情報を吟味し、取捨選択できなければならない。フェイクニュースに騙されないためには何が必要か？

### STEP1.実際にあったフェイクニュースを見て、これらのデマにはどんな性質があると言えるか？



① 2016年の熊本地震の際に、動物園からライオンが抜け出したデマ投稿をきっかけに、動物園への問い合わせが殺到。偽計業務妨害の容疑で逮捕された。実際は南アフリカ共和国で撮られた写真であった。

② アメリカ大統領選挙時に、「あるピザ屋の中で民主党議員が人身売買に関与している」というデマがSNS上で拡散され、信じた人がピザ屋を銃撃する事件が発生。

③ コロナ禍の2020年、「深く息を吸って10秒我慢できれば新型コロナに感染していない」という誤ったセルフチェックが拡散。ある県警の公式アカウントまでこの誤情報を投稿してしまった。

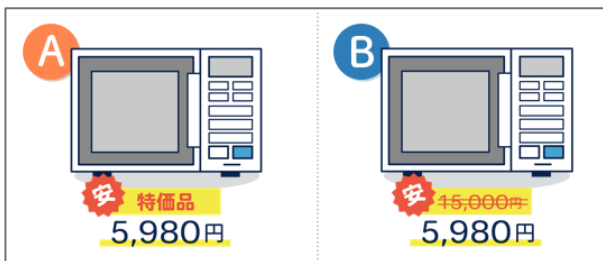


これらの要素をもつ情報は、共感・拡散されやすく、通常の情報に比べ[ ]倍の拡散スピードになる

### STEP2.なぜ私たちは騙されるのか(1)

① AとBは同じ商品。どちらのレンジが気になる？

② サッカーW杯で話題となった三笥の1mm。同じプレーでなぜ賛否が分かれる？



人間は「願望や経験」「思い込み」「環境」などによって無意識のうちに偏った判断をする=[ ]

わかりやすく言い換えれば… 人間は自分の  を選ぶ 習性がある。

この習性とSTEP1でのデマに含まれる要素がマッチして、私たちはデマに騙され拡散をしてしまうことになる。

### STEP3.なぜ私たちは騙されるのか(2)

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する「」と呼ばれる機能がある。TikTokやInstagramの検索、YouTubeのおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する **フィルターバブル**という現象に陥る。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。





# 国民と政治参加

公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

## (i) 選挙権の拡大

※有権者の人口比は、法改正直後の国政選挙での数字

法改正年			有権者の人口比※
1889	第1回選挙	直接国税15円以上を納めた25歳以上の[ <b>男子</b> ]	<b>1.1%</b>
1900	第7回選挙	直接国税10円以上を納めた25歳以上の男子	<b>2.2%</b>
1919	第14回選挙	直接国税3円以上を納めた25歳以上の男子	<b>5.5%</b>
1925	普通選挙法制定	満[ <b>25</b> ]歳以上の[ <b>男子</b> ] ★男子普通選挙実現	<b>20.0%</b>
1945	衆院選法改正	満[ <b>20</b> ]歳以上の[ <b>男女</b> ] ★普通選挙実現	<b>48.7%</b>
2015	公職選挙法改正	満[ <b>18</b> ]歳以上の男女	<b>83.7%</b>

- ・大正デモクラシー期に男子普通選挙が実現し、第二次世界大戦後に男女普通選挙が実現
- ・近年は<sup>[1]</sup> **在外邦人** ]投票制度や<sup>[2]</sup> **期日前** ]投票制度が設けられ、投票機会が拡充されてきた。

## (ii) 世論とマスメディア

- <sup>[3]</sup> **世論** ]: 公共の問題に関する国民の意見であり、この結果が政権運営に影響を与える  
**世論調査**の結果や、**内閣支持率**などを新聞やテレビで公開している。

これを形成するにあたり、マスメディアの影響が大きく<sup>[4]</sup> **第四の権力** ]とも表現  
また、近年の世論形成にはインターネットやSNSの影響が大きくなっており、情報を受け取る側も適切に情報を取捨選択する能力(<sup>[5]</sup> **メディア・リテラシー** ])が求められる。

- インターネットによる運動解禁: 2013年にインターネットやSNSでの選挙運動が解禁に。  
身近に政治の関心を持てるようになるが、安易な発言は注意する。  
また、満18歳未満の選挙運動は禁止されている

※ここで注意したいのが、インターネットによる「投票」はまだ実施されていないということ。

### ■ 政治的無関心の弊害

現代は大衆社会と言われ、経済・社会・文化などの面で大衆が大きな影響力をもっているが、政治面では、主体性が失われつつある。特定の支持をもたない<sup>[6]</sup> **無党派層** ]が多く、若者を中心として<sup>[7]</sup> **政治的無関心** ]が多いことも今日の問題である。

## Work📁 フェイクニュースに騙されないために

総務省「ニセ・誤情報に騙されないために」参照

情報が溢れる現代社会。当然すべてが正しいわけではなく、嘘やデマ、誤情報、悪意のある情報を吟味し、取捨選択できなければならない。フェイクニュースに騙されないためには何が必要か？

### STEP1.実際にあったフェイクニュースを見て、これらのデマにはどんな性質があると言えるか？



① 2016年の熊本地震の際に、動物園からライオンが抜け出したデマ投稿をきっかけに、動物園への問い合わせが殺到。偽計業務妨害の容疑で逮捕された。実際は南アフリカ共和国で撮られた写真であった。

② アメリカ大統領選挙時に、「あるピザ屋の中で民主党議員が人身売買に関与している」というデマがSNS上で拡散され、信じた人がピザ屋を銃撃する事件が発生。

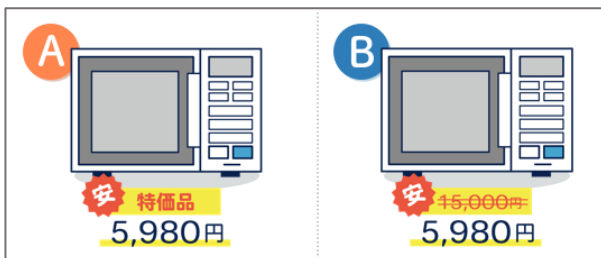
③ コロナ禍の2020年、「深く息を吸って10秒我慢できれば新型コロナに感染していない」という誤ったセルフチェックが拡散。ある県警の公式アカウントまでこの誤情報を投稿してしまった。

意外性がある・人に言いたくなる・正義感を駆り立てる・根拠のない願望・知名度が低い

これらの要素をもつ情報は、共感・拡散されやすく、通常の情報に比べ[6]倍の拡散スピードになる

### STEP2.なぜ私たちは騙されるのか(1)

① AとBは同じ商品。どちらのレンジが気になる？



② サッカーW杯で話題となった三笥の1mm。同じプレーでなぜ賛否が分かれる？



人間は「願望や経験」「思い込み」「環境」などによって無意識のうちに偏った判断をする=[ 認知バイアス ]

わかりやすく言い換えれば…

人間は自分の **信じたいもの** を選ぶ 習性がある。

この習性とSTEP1でのデマに含まれる要素がマッチして、私たちはデマに騙され拡散をしてしまうことになる。

### STEP3.なぜ私たちは騙されるのか(2)

ネットニュース、SNS、検索サービスなどには、その人が欲しがりそうな情報を分析し同じような情報を表示する「**アルゴリズム**」と呼ばれる機能がある。TikTokやInstagramの検索、YouTubeのおすすめなど…心当たりは無いかな？これにより偏った情報に囲まれると、これが世の中の常識と錯覚し誤解する**フィルターバブル**という現象に陥る。自分が心地よい情報ばかりが流れ込み、極端に視野が狭くなった頭では…真偽を見抜ける力は無くなってしまう。

